

柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1985.3.1 SPRING VOL.

3



(柳泉園組合営テニスコート)

“生活環境、を快適に

当組合が昭和35年9月に「北部三ヶ町衛生組合」として発足してから、今年で25年目を迎えることになりました。管内人口は、当時と比べて3.4倍の33万人を数えるまでに至っており、この間施設の拡充整備に努めてまいりました。

昨年は4月より、生活環境保全の立場から、廃乾電池・廃けい光管・水銀体温計などの水銀等を含む廃棄物を、住民の皆様のご協力により、分別して、回収することになりました。これらの乾電池等は、日の出町谷戸沢廃棄物広域処分場に持ち込まないようにし、同年(昭和59年)10月からは北海道に運んで処理するようにしております。

又、当組合で建設中の可燃ごみ用「ごみ処理施設第2工場」(焼却能力120^ト／日×2基)は、昭和61年3月末の完成を目指して工事を順調に進めており、

竣工後は、四市から排出される可燃ごみの全量を処理できる体制が整います。

一日も欠かす事のできない清掃事業の円滑な運営を推進するには、住民の皆様のご理解とご協力がが必要です。ごみの分別・水切り(可燃ごみの50%以上は水分です)など、ちょっとした住民の皆様の心くばりが大きな効果を発揮します。

地方財政をとりまく情勢は、年々厳しくなるものと思われませんが、本年も“生活環境を快適に、を”目指して、ごみ・し尿処理施設の整備・充実に努力してまいります。

住民の皆様、今後とも身近な清掃問題について、なお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

柳泉園組合管理者 都丸哲也

58年度決算報告!!



●昭和59年12月4日に開かれた当組合の12月定例議会で、昭和58年度の一般会計決算が認定されました。これによると歳入(収入)が19億8041万円(前年度比2.5%増)、歳出(支出)が18億7623万6千円(前年度比2.8%増)となりました。この決算から、その主な使い道と、ごみ・し尿の処理経費についてお知らせします。
(昭和58年度のごみの量は、前号に記載されております。)

58年度歳入

- 分担金及び負担金
柳泉園組合を構成する四市が負担する負担金12億357万6千円。
- 使用料及び手数料
私車で搬入されたごみの処理手数料と体育施設などの使用料として6227万8千円。
- 国庫支出金
ごみ処理施設第2工場の建設工事に対する国の補助金7135万円。
- 都支出金
ごみ処理施設第2工場の建設工事と粗大ごみ処理施設の改造工事に対する都の補助金1077万5千円。

●財産収入

- 特定の事業を行うための基金に対する預金利子594万7千円。
- 繰越金
前年度の繰越金1億705万1千円。
- 諸収入
組合の歳計現金の預金利子、ごみ及びし尿の事業に対する交付税配分金や雑入など2億883万3千円。
- 組合債
ごみ処理施設第2工場の建設工事と粗大ごみ処理施設改造工事の借入金3億1060万円。この借入れは、厚生年金積立金の還元融資を受けています。

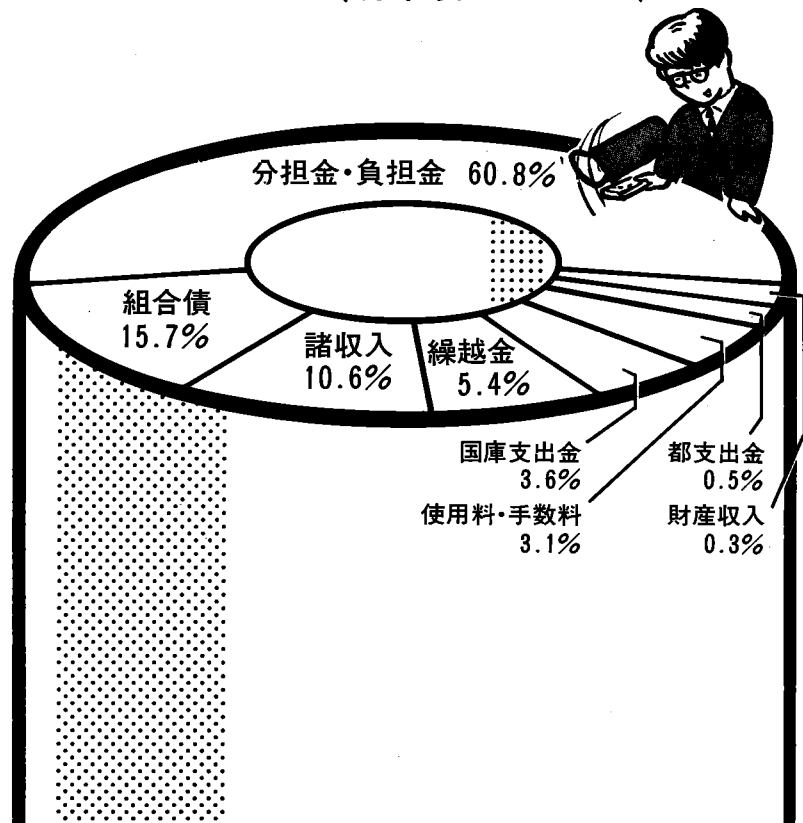
58年度歳出

- 昭和58年度決算は、歳出(支出)総額で18億7623万6千円になりました。主な使い道は次のとおりです。
- 議会費
組合議会の運営経費725万1千円。
- 総務費
組合の共通する事務に要する経費として1億2461万9千円。
- ごみ処理費
ごみ処理施設の運転経費や定期点検整備など7億5119万8千円。3ヵ年の継続事業として行っているごみ処理施設第2工場の建設に、

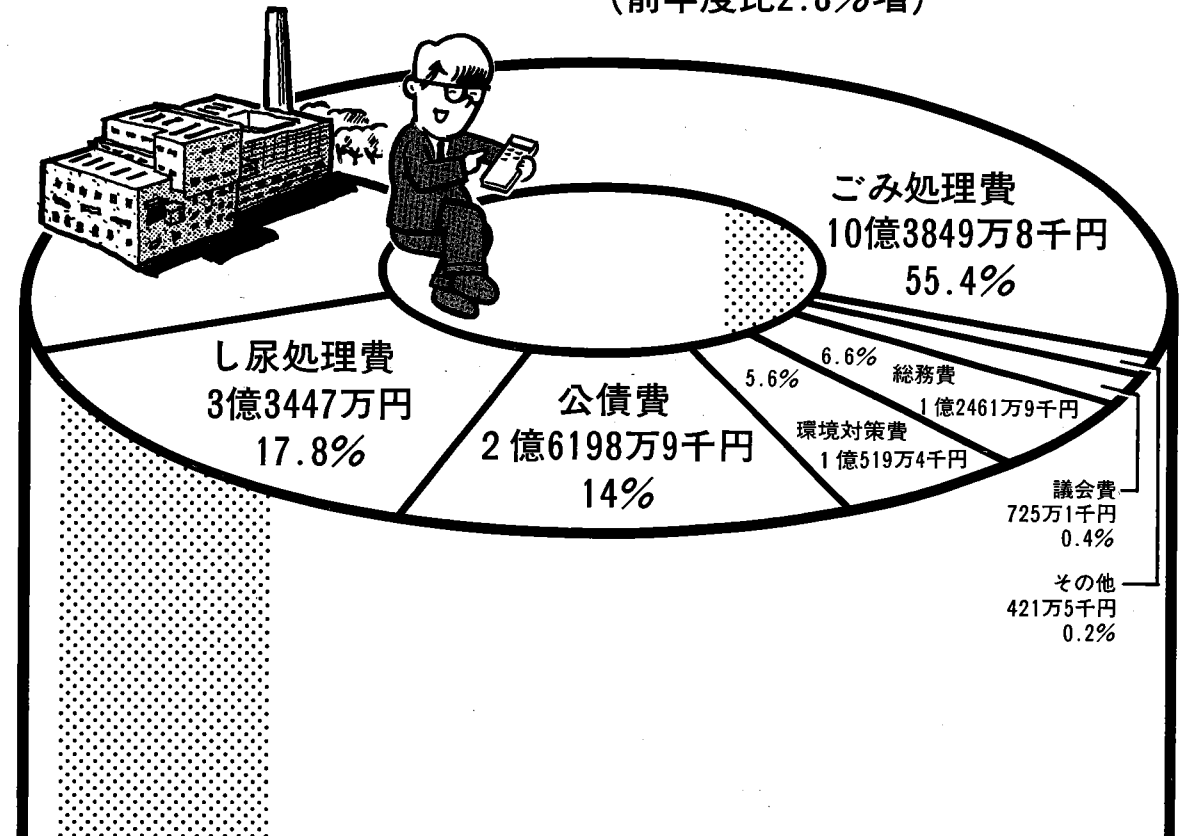
- 初年度(58年度)は土木工事を主として2億8730万円。この工事には、国庫補助金、都補助金、組合債等が財源に充てられました。
- し尿処理費
し尿処理施設の運転経費や脱臭施設等修理の定期点検整備など3億3447万円。
- 環境対策費
体育施設の運営経費と施設周辺の整備、更に、ごみ及びし尿処理施設の運転状況の分析業務などの経費1億519万4千円。
- 公債費
組合債(借入金)の返済として、

元金分1億9096万9千円、利子分7102万円。
●その他
421万5千円。
(清瀬市への還付金)
歳入決算額から歳出決算額を差引くと1億417万4千円となりましたが、これは、歳入の予算額に対する増と、歳出では事業の変更等によるもので59年度への繰越金となりました。

歳入総額 **19億8041万円**
(前年度比2.5%増)



歳出総額 **18億7623万6千円**
(前年度比2.8%増)



進む!! 新炉工事



焼却場が見えてきた!! 建設作業は順調

〈ごみ処理施設第2工場〉

昭和58年7月30日から着工している、ごみ処理施設第2工場は、昭和61年3月末の完成を目指して着々と進められており、機械設備の一部も据えつけている。

現在、外観からも工場の全容が

分かるようになってきており、焼却場の全体像が浮かび上がってきています。

処理能力は、240トン/日
(120トン/日×2基)

この第2工場の
主な特長は、次の
とおりになって
います。

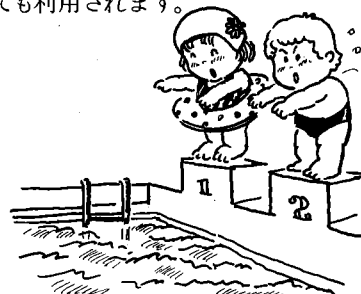


余熱を有効に利用して 経費の節減

ごみ焼却により発生した熱エネルギーはボイラーと一体構造の焼却炉で蒸気として効果的に回収され、タービン発電機に送られ発電を行います。ここで得られた電力は場内使用電力として利用され、ごみ処理経費の節減に大きく寄与

する事ができます。

更に、温水プール用の熱源としても利用されます。

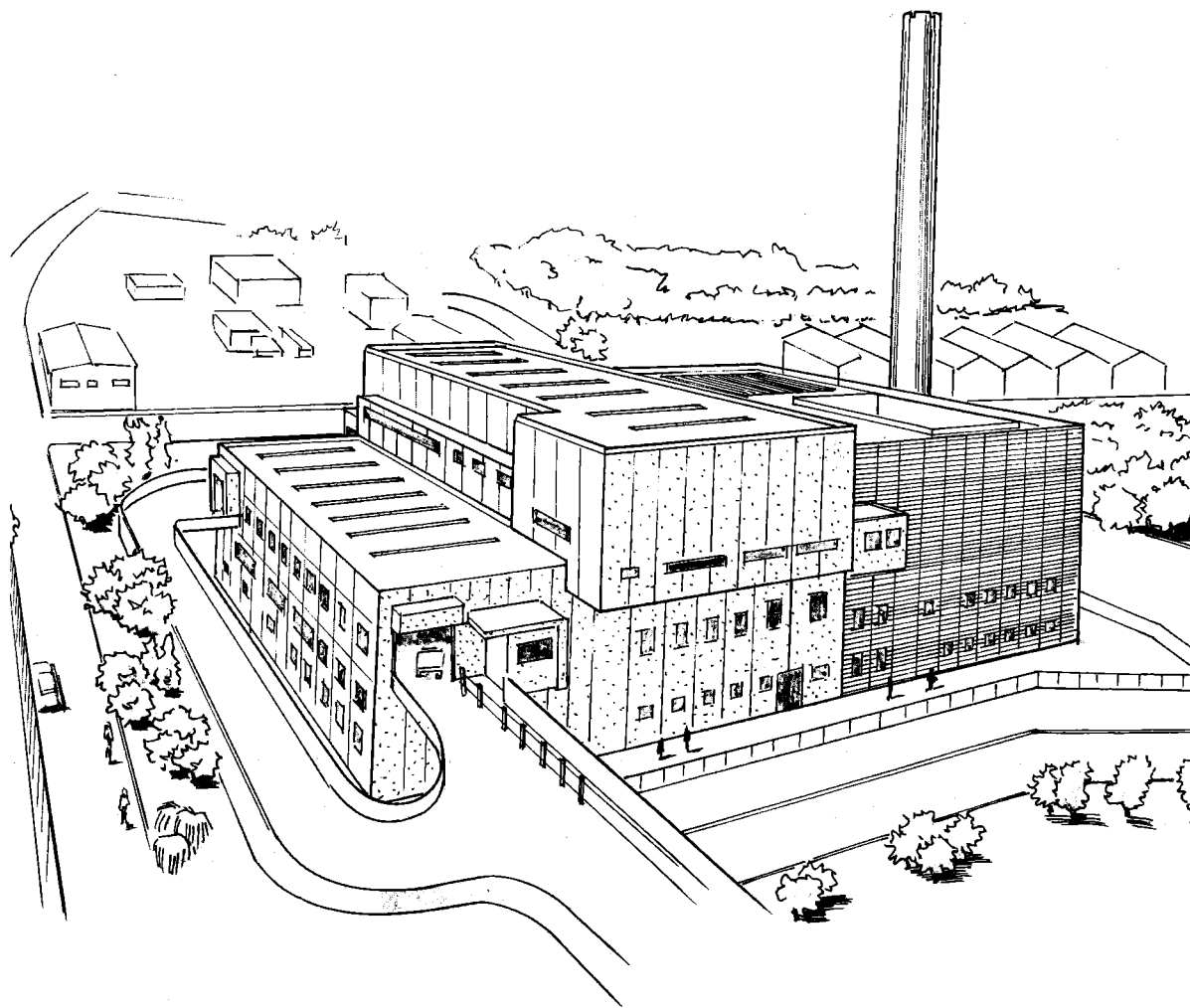


工場見学はスクリーン越しに

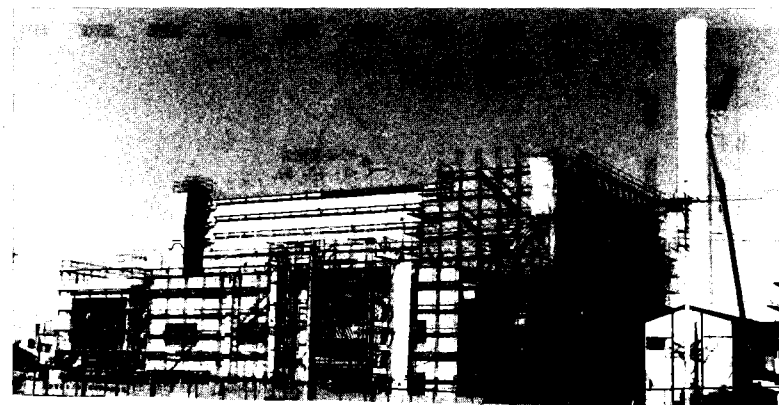
見学者は、新工場の三階エントランスホールから入り二階展示室



▲只今機械の据付中



ごみ処理施設第2工場 完成予想図

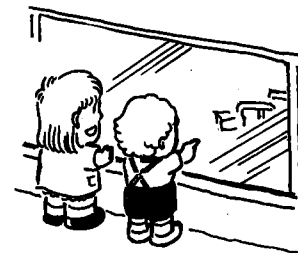


▲外観からもごみ処理施設第2工場がわかるようになりました。

自動燃焼制御システム

ごみの焼却量やごみの質の変動に応じて自動的に最適な燃焼条件を作り、安定した燃焼と、ボイラ発生蒸気量を得ることができます。また、電算機システムの導入により、施設の監視機能は向上します。

で施設の説明を聞いた後、本施設の見学を行います。なお、見学に当たっては、ガラススクリーン越しに見学ができるようになっております。



三・二・解・説

☆ DO (溶存酸素) dissolved oxygen

水中に溶け込んでいる酸素のことで、水中の魚貝類、藻類、好気性細菌などの呼吸に用いられる。きれいな川でふつう7~10ppm前後含まれており、有機物(生物の排せした物や、人為的に合成したもの)が増えると、

酸素が消費されて減るため、水質汚濁を示す指標となる。

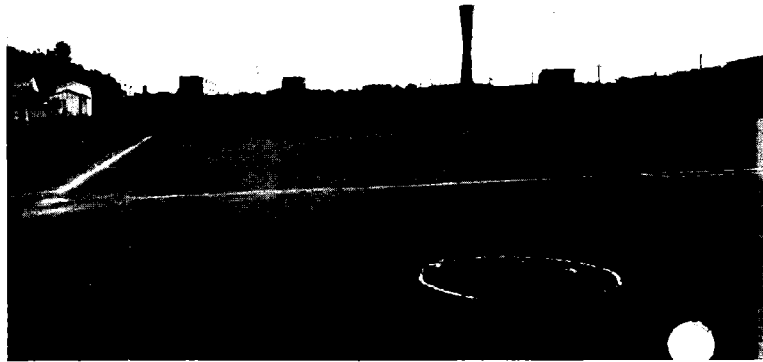


エンジョイスポーツ
enjoy sports

テニス・ベースボール



木々の芽吹き出す季節
「春」がやって来ました。
テニスに、ベースボール
に、春のやわらかな、
日射しのもとで、気
持の良い汗を流しま
せんか。柳泉園には
みなさんにのびの
びとスポーツを楽
しんでいただける
テニスコート、
野球グラウンドがご
ざいます。お気軽にご利用下さい。



- 野球場 期間…4月1日～11月30日
料金…1000円/2時間
- テニス 期間…4月1日～11月30日 (冬期中も可能)
料金…500円/2時間

☎0424-73-3121 へ申し込んで下さい

Message

組合からのお願い

柳泉園組合から、皆さまにお願いがあります。

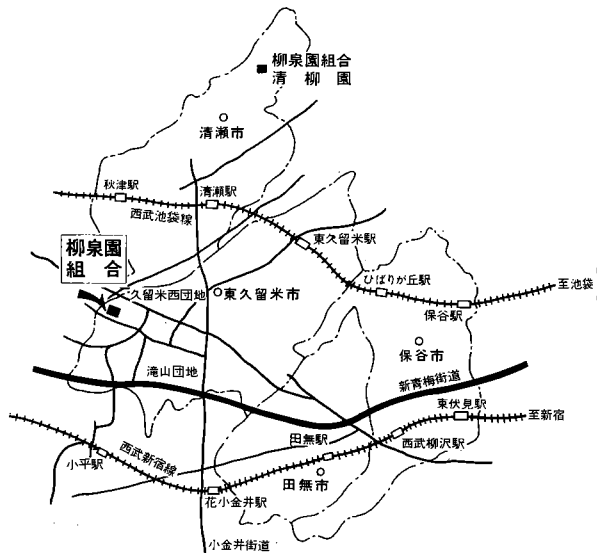
1.ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみ进行处理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1ト処理するのに約12,000円かかります。それに収集、運搬費を加えると1ト処理にあたり約26,000円になります。ごみが少なくなるとこの費用が他の行政費用に回すことができます。

2.ごみを出す時は「燃えるごみ」「燃えないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないとごみ焼却炉を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にもまた費用がかかります。

また、構成4市では有害ごみの回収も分別収集あるいは電気店等の拠点収集方法で市民の皆様をお願いしています。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

次回には、組合の予算、処理量等についてお知らせしたいと思います。

ここが柳泉園です。



管内人口 (S60.1.1現在)

世帯数 117,264 世帯
人口 334,047 人